

総会決議受け、3年度の具体的活動を意識合わせ

全役員会議(第2回理事会)を開催

6月26日第2回理事会を全役員会議として開催しました。

○学生会協働支援隊からひとむすびと7名の学生がオンラインで参加しました。

会議は、総会第1回理事会議が非集合となったことから、新年度最初の集合会議となりました。今年度から地域活動を取組

○第2回会議は、総会で決定した事業計画の具体化をメインに話し合いを行いました。

化と進め方
①吉川小学校統合計画への取組み、②吉川工業団地西側エリアの開発動向、③吉川活性化PJの取組み、④自主防災に関連する取組み、⑤吉川地区学生協働支援隊の取組み、⑥自治協議会特別会計(基金)の開設等



集合会議で開催。学生協働支援隊はリモート参加

○新型コロナウイルス感染症拡大防止でイベント開催を見直す。①吉川夏まつり：中止。②県道の里親作業の実施日を見直す。③敬老会(9月17日予定)：直近の理事会で決める



【駐車場整備の様様】

を話し今年度事業の具体化を決め、節々に学生協働支援隊とも連携し取組むこととしました。

厳しさを増す自然災害、早めの避難行動で命を守る

地域防災の取組み

地球温暖化などによる地球環境変化等の影響を受けて、大量かつ短時間の豪雨による水害・土砂流入等の被害が発生しやすくなっています。吉川地区自主防災会は、市危機管理課の指導と連携によつて災害に強い地域づくりを地域の皆さんと取組んでいます。

した。この間の避難者は1世帯2名でした。現在吉川地域の避難所開設・運営は、吉川地区自主防災会が行っています。避難所としての受入れ態勢を整えることにも努めています。

感染症の拡大防止

重要な課題に、避難所における感染症拡大の防止策がありませんが、避難者のうち発熱者を隔離するテ

避難所開設運営 地区防災会が対応

5月20日18時、雨による土砂災害の危険性がある(警戒レベル3)ことから避難所を吉川地域センターに開設しました。今回は、夜半以降雨脚も弱まり、翌朝7時30分避難所を閉鎖しま



【7月豪雨/槌山城の麓】

体育振興会長杯 GG大会を開催



【GG大会の様様6/26】

例年吉川区民運動会の日で開催してきた体育振興会長杯グランドゴルフ競技大会を6月26日(日)ニテイ広場で開催しました。大会はこれまで5月に開催していきま

が、コロナ禍で延期してしまいました。大会には、23名の地元住民が集まりスタート。結果、優勝は村主十千子さん、二位は井室忠昭さん、三位は下市文子さんが入賞しました。

東広島市 ハザードマップ 改訂版の配布



5月末吉川地域の各世帯に東広島市ハザードマップを配布しました。今回の改訂版に土砂災害警戒区域として、東山北西麓の工場地域と吉川第1工業団地南側が追加されました。

危険区域居住世帯への重点啓発

東広島市は、6月9日から災害リスクが想定される世帯宛に「お知らせ」はがきを送付し、土砂災害警戒区域に立地する住宅であることを周知活動を進めています。吉川エリアでは45世帯に郵送されました。

3月末各世帯に配布した「令和3年度版我家の避難行動計画書」には市が改定した箇所のうち①警戒レベル区分、②建物表記は織り込んで作成しています。今後各地区の皆さんと一緒に危険箇所避難ルートを更に検証し見直し作業も行っていきます。

よしかわだより

令和3年6月28日(2021-3)

発行者:吉川まちづくり自治協議会
☎082-429-1879(吉川地域センター内)
yoshikawa.jitikyo@outlook.jp



令和3年度吉川夏まつり大会 今年度「中止」

6月20日緊急事態宣言は解除となりましたが、変異種ウィルスの置き換わり、対象者へのワクチン接種終了迄に時間を要すること、第5波となる感染拡大への懸念があること、などを考慮し、「夏祭りの開催は困難であり中止することとしました。<第2回理事会>

新たな家庭ゴミ分別方法

住民対象勉強会に参加を!!

7月25日(日)午前10時~ 於:地域センター

第1回の粗大ゴミ回収、地区役員の手伝いで実施

今年度1回目の粗大ゴミ回収搬出作業を燃やせる粗大ゴミは6月6日、燃やせない粗大ゴミは6月27日に、それぞれ吉川地域2か所で行われました。



燃やせる粗大ゴミの回収

立合いを東部は上中横野地区、西部は本郷地区が担当し、地区長・班長・地区推進委員が参加しました。

今回は、5月16日から広島県域に出された「コロナ感染拡大防止緊急事態宣言」の中での回収となりました。

粗大ごみ回収は生活と関わりがあるとの判断で中止せず、搬入される住民の一層の協力(持込み者の記名等)を求めた分別と持込みをお願いしました。

吉川地域で年4回実施しているポイ捨て空缶回収作業を5月2日の午前中に実施しました。



戸塚自治会員による回収作業

全エリアでの収集状況は40リットル袋にして、空缶18袋、空缶8袋に加え、その他ゴミ23袋の多さでした。今回もゴミの不法投棄量が多い状況が続いています。今年度も4回実施します。

一方、東広島市主催で6月13日市内全域で実施予定であった「きれいなまちづくりキャンペーン」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止されました(5月13日周知)

分別間違いはありませんでした。

感染防止を最優先。持込み者の協力で円滑に終了。

6月27日は燃やせない粗大ごみの回収を実施しました。立合いは東部を東郷、西部を清



燃やせない粗大ゴミ回収模様
上:東部の東郷、下:西部の清水原

水原の役員・住民の方にお願ひしました。

持込み者もマスクを着用し、荷台から分別場所まで自ら運ぶ等、

感染防止を最優先した協力を頂きました。燃やせないゴミは小物類も多く、ビニール袋に入れ記名して持ち込まれました。

分別間違いは回を増すごとに少なくなっていますが、市ガイドブックで分かりづらい物品もあり現場では苦勞する場面が見られました(回収結果報告は次回)

新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先にコミュニケーションを図ることを工夫

5月14日に出された新型コロナウイルス感染拡大防止のための広島県緊急事態宣言は、5月16日から、1回の延長を経て6月20日迄の期間となりました。

この間、吉川まちづくり自治協議会は東広島市の指導を受けて、主催会議・イベントを中止か延期とし、地域センターも同様に延期または中止し、貸館業



オンライン通いの場

オンラインを活用した通いの場を試行実施

務では新規利用を中止し、既予約者についても自粛の要請を行いました。但し、燃やせる粗大ゴミの収集は、生活関連業務のため感染防止策を講じて実施しました。

自治協事務局としては、地場企業との対応や学生協働支援隊との打合わせはリモート(テレビ電話会議)方式を活用して意思疎通を図りました。

医療保健課職員がインストラクターとなって家庭からの参加者に百歳体操などを指導。双方向のコミュニケーションを活かしたコグニサイズ等も体験しました。当初は操作に不慣れな面もありましたが、慣れるほどに体操もコミュニケーションも楽しめるようになりました。吉川げんき塾からは「今後リモート方式によるプログラム開催」の視点で地域センターから2、3名が参加し、実施にあたっての課題を探りました。

吉川まちづくり自治協議会…7月予定表

- 7月4日: 缶瓶不法投棄回収
 - 7月5日: 市社協主催 地域懇談会 in 吉川
 - 7月5日: 敬老事業説明会(市)
 - 7月6日: H30年7月豪雨災害犠牲者追悼式(会長)(市)
 - 7月8日: 社会を明るくする運動(暴走キャンペーン)(市)
 - 7月8日: 吉川活性化PJT第18回会議
 - 7月20日: 第3回コミュニティスクール準備会
 - 7月25日: 新たな家庭ゴミ分別方法に関する勉強会
 - 7月31日: 第3回理事会(敬老会議)
- ※(市): 市主催行事 開催日等が変更となる場合があります

元気輝きポイント認定団体

吉川げんき塾: 7月スケジュール
毎週木曜日10時~11時30分

於: 吉川地域センター

- 7月1日: 集中対策期間-休止
- 7月8日: 集中対策期間-休止
- 7月15日: 体操、脳トレ
- 7月22日: DVD体操、脳トレ
- 7月29日: DVD体操、脳トレ

参加は、いつでもOKです。まずは見学参加しませんか

よしかわの1枚



学校田の田植え(6月3日)

東広島市市民活動情報サイト「すきかも」もご覧ください

<https://www.higashihiroshima.sukikamo.jp/>

“よしかわだより”に関するお問い合わせは、吉川まちづくり自治協議会にご連絡下さい。